

== 記載例 ==

① 活動の収入内訳

応募した活動企画の実施に対して、本事業以外からの収入の予定がある場合は、その内訳をお書きください。

収 入 先	金 額 (円)
本助成金 (申請額)	82,000円
〇〇助成金	14,000円
会費	5,000円
講演会参加費収入	15,000円
合 計	116,000円

② 申請金額内訳 (今回申請する活動費用金額の内訳を書いてください)

費 目	内 容	金額 (円)	合計金額 (円)
(1) 謝金	講演会講師料 (10,000×2回)	20,000	25,000円
	フィールドワークでの実地指導謝金	5,000	
(2) 旅費	講演会講師旅費 (5,000×2回)	8,000	8,000円
(3) 物品購入費	文具類	3,000	9,000円
	資料及び教材購入費	6,000	
(4) バス雇い上げ費	スタディツアーのためのバス雇い上げ費 (20,000×1回)	20,000	20,000円
(5) 会場使用費	講演会会場使用料 (3,000×1回)	3,000	3,000円
(6) 印刷製本費	報告書の印刷製本費	15,000	15,000円
(7) 通信運搬費	講演会広報費 (切手代)	2,000	2,000円
(8) その他の諸経費			0円
総 合 計			82,000円

活動経費の内訳例

以下のような活動経費について支援を考えています。

	内 容
(1) 謝金	・ 講演会、セミナー等の講師謝金およびスタディツアー等での実施指導謝金
(2) 旅費	・ 講演会、セミナーでの講師旅費（交通費・宿泊費）
(3) 物品購入費	・ 一般事務用品（文具・用紙等）やイベント用品、その他必要な資料の購入費
(4) バス雇い上げ費	・ スタディツアー等を行う際のバス借上げ代（乗務員雇用費含む）
(5) 会場使用費	・ 学外にて講演会、セミナー等を行う際の会場使用料
(6) 印刷製本費	・ 資料の複写費（事務局のコピー機を使用）、報告書の印刷費等
(7) 通信運搬費	・ 活動に必要な郵便費等の通信費
(8) その他諸経費	・ 上記の項目に該当しない経費 * 但し、活動メンバーの茶菓子代等、支援対象として不適当なものは除きます。

「学芸大生がひらくサステイナブルな未来プロジェクト」審査基準

* 以下の項目はあくまで審査の基準であり、応募の条件ではありません。

評価項目	内 容
① 企画の内容及び充実度	企画内容の質および充実度について 1) 学生の学びへの効果 2) 地域社会への貢献度 3) 活動の独自性 等の観点から評価を行う。
② 新規性	今回の応募に当たり、新たに企画され、考え出されたものであるかどうか。これまでにない斬新さを持っているか。
③ 実現性	企画内容が期間内に充分達成できるものであり、主催団体の能力(知識・経験等)にも見合ったものであるかどうか。
④ 申請金額内訳の適切さ	申請金額内訳について、本学現代GPの主旨に合っており、予算執行上からも問題のない項目が立てられており、かつ申請金額も適切なものであるか。
⑤ 安全性	企画の実施に対し、安全対策がしっかり取られており、主催団体にも安全管理の知識・経験が備わっているか。
⑥ 総合点	上記4項目を含めた総合的な視点から、企画内容について評価。